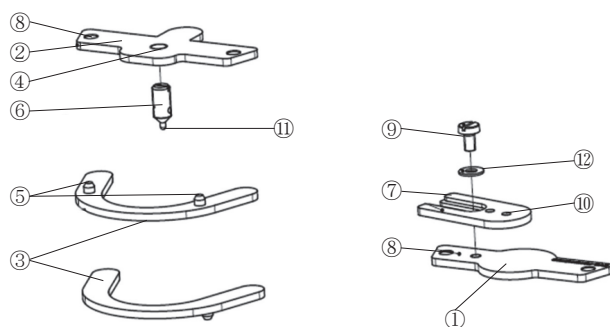


歯科材料 6 歯科用印象材料  
一般医療機器 歯科咬合採得用材料（70883000）

## ナソメータ CAD

## 【形状・構造及び原理等】

## 【構成】



- ① 下顎用レジストレーションプレート
- ② 上顎用レジストレーションプレート
- ③ バイトリムサポート
- ④ レジストレーションピンホルダー
- ⑤ リテンション
- ⑥ マーキングピン
- ⑦ フィキシングプレート
- ⑧ スナップフィット
- ⑨ 固定用スクリュー
- ⑩ ファンネルホルダー
- ⑪ マーキングピン
- ⑫ ワッシャー

## 【原理】

組み立てた本品を患者に装着し、患者の口腔内の印象、咬合採得する。

## 【使用目的又は効果】

クラウン、ブリッジ、義歯等を作製するために、上下歯列の咬み合わせや、上下顎の位置関係を記録する。

## 【使用方法等】

1. バイトリムサポート装着したカスタムトレーの辺縁部を確認し、必要に応じて削合調整する。上下のバイトリムが咬合時に接合し、カスタムトレーの適合性、トレーの浮き上がり状況、ボーダーラインを確認する。
2. 印象採得中は反対側のトレーを口腔内に装着し、咬合平面の確認とゴシックアーチ描記時に正しい位置関係を得られるようにする。
3. 印象採得後、咬合平面の数値を確認後、バイトリムサポートを取り外しロングノーズタイプのプライヤーで、レジストレーションプレートを装着する。上顎にマーキングピンを下顎にフィキシングプレートを外したレジストレーションプレートを装着する。
4. 正しく装着された場合は、患者が適正な顎位で、上下顎を咬合させた時に上顎のマーキングピンと下顎のレジストレーションプレートが1点だけで接触する。

5. 咬合高径をチェックする。必要に応じ、上顎のマーキングピンの高さを精密ドライバーで調整する。ネジを1回転させると前歯部の咬合高径が約0.8～1.0mm上下する。
6. ゴシックアーチを描記するために、下顎の印象を口腔内から取り出す。レジストレーションプレートを取り出し、カラーワックスやチャイナマーカー等を薄く塗る。その後、レジストレーションプレートを再装着し、口腔内に入れる。
7. 上下顎の印象採得したカスタムトレーを口腔内に装着し、患者に次の運動をさせる。描記前にこれらの運動を患者に練習させておく。
  - a) 下顎を前後方向に動かす。
  - b) 下顎を左側に動かし戻す。
  - c) 下顎を右側に動かし戻す。これら一連の動きを2回以上繰り返す。
8. 口腔内から描記した下顎のレジストレーションプレートを取り出す。ゴシックアーチが不鮮明な場合、もう一度行う。
9. 上下顎印象の固定と最終確認のために、採得されたゴシックアーチの中心位上にある描記点にフィキシングプレートの2つの穴のうち1つを合わせてネジで位置を固定する。
10. 患者の口腔内をチェックし、マーキングピンが閉口時にフィキシングプレートの穴に入っているかを確認する。ピンが何度も穴に入らない場合はフィキシングプレートを調整するか、咬合採得をやり直す。
11. 上下ベーシックアーチ間のスペースを即硬性のバイト用印象材等で埋めて上下顎間関係を固定した状態で口腔内から取り出す。

## 【使用上の注意】

## 【重要な基本的注意】

1. 患者が口を閉じた時に上顎のマーキングピンで怪我をしないように、舌をレジストレーションプレートの下か口の奥に置くように指導すること。
2. ゴシックアーチのトレーシング時、頭部が椅子のヘッドレストにもたれないようにまっすぐ座ってもらうこと。

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

## 【製造販売業者】

Ivoclar Vivadent株式会社

電話 03-6801-1301 Fax 03-5844-3657

www.ivoclarvivadent.jp

## 【製造業者】

Ivoclar Vivadent GmbH(オーストリア)